

ケーススタディ: 英国Newcastle市議会

AEP Secure Application Virtual Editionによる 無制限且つセキュアなリモートアクセス

コンプライアンス及び柔軟性を実現した仮想ソ リューションへのアップグレード

遡ること2004年11月、Newcastle市議会は重要なユーザ基盤へのセキュアなリモートアクセスを提供する為、AEP Networks社、及びUKに位置する主要なチャネルパートナーの一つである、Enforce Technology Limited社へ最初の契約を結びました。

当時他の製品についても考慮がなされていましたが、市場において大規模な環境への導入が容易で、且つ管理性が高い製品としてAEP Netilla SSL VPNが選ばれました。Enforce社のManaging DirectorであるJohn Calder氏は次のように述べています。“製品評価プロセスにおいて、AEP社のSSL VPNは目的に適しており、まさに看板に偽りなしということを証明してくれました。”

当時比較的新しい技術ではありましたが、このソリューションは導入後もスムーズに稼働しており、当初の導入要件を満たし続けていました。実のところ、メールサーバをGovernment Connectプログラムの一部として自身のネットワークへ移行せねばならなくなるまで、導入後はユーザライセンスの追加を除いては比較的手つかずのままでした。Newcastle市議会は可能な限りのより良いソリューションを求めて再びEnforceへ協力を依頼したのはこの時(2008年11月)でした。

Newcastle市議会のICTテクニカルコンサルタントであるAndrew Price氏は次のようにコメントしています。

“我々は、変化の必要性が生じた際の数年間、Enforce社とAEP Networks社と関わってきました。我々は政府によって定められたコンプライアンス要件を満たすこと、更にはプロジェクトを通じて付加的な利益を得ることを切望していました。使用してきたSSL VPNは、インストール後数年間に渡り、なんの問題もなく稼働し続けてきました。しかし変化と共に現在のシステムを見直し、仮想化製品(AEP Series A Secure Application Virtual Edition)が脚光をあびる時代が来ました。仮想化製品は、物理的な製品では提供できない柔軟性と回復性を我々に提供するように思えたのです。事実、特有の柔軟性を持つ仮想化環境によって、我々は今やほぼ無制限にユーザ数へ対応することができます。”

アップグレードへのプロセス

多くのアップグレードプロジェクトのように、時間は非常に重要なものです。しかしながらこの事例に費やすことのできる時間は劇的にみじかいものでした。Newcastle市議会は新規システムの使用を決定し、テストし、インストールし、運用に乗せるまでおよそ3、4週間で実現する必要がありました。

大規模な環境への導入が容易で、且つ管理性が高い製品としてAVE Secure Application Virtual Editionが選ばれました。

Price氏は次のように続けています。

“プロジェクトは、コンフィグレーションをオフサイトでアップグレードし、利用できるよう提供する前に概念実証(POC)を実現したEnforce社によって遂行されました。ユーザに対しダウンタイムはなく、仮想化製品を使用しているという意識もありませんでしたし、プロジェクト全体も仮想化へアップグレードされたということを基本的に気付かれずに重要な功績をおさめることができました”

更なる利益

コンプライアンスはプロジェクトにおいて重要な課題でしたが、Newcastle市議会はさまざまな利点享受してきました。例えば、AVEの導入によって、技術チームは本番システムから孤立したテスト環境を構築することができるようになりました。このことにより、チームは本番機導入前に、新規プロセスのシナリオをきちんとテストすることができるようになりました。また、AVEは物理的環境に比べ、大幅なユーザー拡張性と障害回復性を提供します。同時使用ユーザ数もほぼ無制限です。

Price氏はまた、次のように述べています。

“英国で豚インフルエンザのような伝染病が発生するなど従業員がオフィスに出勤できない場合でも我々はハードウェアソリューションの拡張を行う必要がなくなったのです。物理的な製品では、最大750人の同時ユーザしか許容することができなかったことでしょう。しかしながら仮想化技術によって、全ての従業員が自宅から効果的に作業を行ったり、業務遂行に必要なファイルへのアクセスを可能にするためのシステム操作が容易に行えるようになったのです。”



英国で豚インフルエンザのような伝染病が発生するなど、従業員がオフィスに出勤できない場合でも我々はハードウェアソリューションの拡張を行う必要がなくなったのです。物理的製品では、最大750人の同時ユーザしか許容することができなかったことでしょう。しかしながら仮想化技術によって、全ての従業員が自宅から効果的に作業を行ったり、業務遂行に必要なファイルへのアクセスを可能にするためのシステム操作が容易に行えるようになったのです。

Andrew Price氏

ICTテクニカルコンサルタント, Newcastle市議会

AEP Networks社のSVPであるPaul Spencer氏は次のように述べています。

“ビジネス継続性は全ての地方自治体が洪水からウイルス性伝染病に至るまで、様々な災害に対応する為の重要な考察です。効率的で、セキュアで、拡張性が高く、障害回復性を兼ね備えたリモートアクセスシステムを持つことはあらゆる不測の事態に対応できる、素晴らしい手段です。パートナーのサポートによって、我々は顧客の日々の要求に対し、最も効果的であらゆる予期せぬ事態からの保護を実現することのできるシステムを提供することができました。”

また、Enforce社のJohn Calder氏は次のようなコメントを残しています。

“仮想SSL VPNは比較的簡単で、既存リモートユーザに対する接続断絶を少なくあるいは全くなく導入することが可能です。アクセスレベルを増加させることも、全てがソフトウェア内で実現できるようにシンプルに実現することができます。我々は必要に応じて全てのユーザを吸収する為、仮想環境内にサブサーバを構築することで対応しています。

容量も必要に応じて操作することが可能なので、いつでもユーザの高騰に対する要求に対応することができます。”

未来への取り組み

今や要件を遂行する為のプロジェクトは完遂することができたので、Newcastle CCは未来への計画を考案することができるようになりました。意図するところとしては、市議会のOutlook Web Accessユーザを取り込み、AEP Secure Application Virtual Editionを通じて市議会サービスへの接続させる、ということです。これにより、Outlook Web Accessをよりセキュアにし、既存システムの劇的な拡張を実現することができるようになるでしょう。Price氏は次のように結論づけています。

「これまでに行われてきたプロジェクトはローインパクトで高い対費用効果を得ることができました。

我々は一度導入されたシステムを使い続け、しばらく手つかずのまま置いてしまっていました。

Enforce社とAEP Networksから我々が得たサービスやサポートは素晴らしく、今後もシステムだけでなく両社との関係性をも拡張していくことに期待を寄せています。”

AEP Networks社について

AEP Networks社は政府、企業、通信キャリア向けにセキュアな通信ネットワークおよびアプリケーションアクセスを提供しています。私たちはシステムインテグレータ、マネージドサービスプロバイダ、代理店と共に、私たちの先進の製品と統合ソリューションを提供すべく活動しています。

- 幅広い通信プロトコルとネットワーク構成をサポートする強化されたセキュアな音声・マルチサービスデータプラットフォーム
- サイト間セキュリティとリモートアクセス用IPSecVPN暗号化による高信頼ネットワーク
- 暗号化キーの管理と保管用ハードウェアセキュリティモジュール (HSM)
- アプリケーションレイヤセキュリティゲートウェイとSSL VPNによる、ネットワークとアプリケーションへのセキュアなリモートアクセス